



【 無事に実施できたスキー教室 】

○ 井波スキークラブや保護者の方にも指導をしていただいた高学年のスキー教室。天候の方も、午前中は晴天に恵まれ、午後は少し雨が降りましたが、大きな影響もなく、無事終わりました。一時は、オミクロン株感染拡大のため、頭に中止の言葉が浮かびました。しかし、館内、ゴンドラ内、リフト乗り場で感染対策を徹底すれば、大丈夫だと思い、また、団体客も2つしかない、平日の一般客は少ないという情報から実施しました。



○ 昼食での館内は、当初の予定と変え、学年で時間差をつくり、対面で座るのをやめ、一人一人の子供の手に消毒液を付けました。また、子供にはかわいそうでしたが、昼食時の会話を控えるよう時を見て声をかけました。

○ 当初私は、スキーをするときぐらいマスクを外してやるだろう、またマスクを外してやっても感染リスクは低いと思っていました。しかし、実際はマスクをしながらスキーをしている子供が多かったです。私もマスクをしながら滑っていました。特にマスクを付けたくて付けていたのではなく、日頃の癖が出た感じで、マスクをしてスキーをしても苦しくなかったので、付けていた次第です。

○ 指導者の一人から、嬉しい話を聞きました。開講式で前に立って話をする人がいると、子供たちは**話し手の方を見て聴いていた**ことがよかったという話です。日頃の先生方の指導が生きているなと思いました。「知」の行動目標が「相手に体を向けて話を聴く」なので、顔を向けていたことはその行動目標にもつながっていると思い、嬉しく感じたのです。



○ 外部指導者の方、保護者の方、スキー場の方、先生方、天候等の全てのお陰で無事、高学年スキー教室が終えたことに感謝したいと思います。2月1日の中学年スキー教室も、子供たちにとって思い出に残るよいスキー教室になるよう祈っています。